



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 森田 宏昭 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,184	3.6	289	20.5	274	15.5	202	△29.0
29年3月期第3四半期	4,038	△7.0	239	△10.5	237	△9.9	284	19.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 325百万円 (△30.0%) 29年3月期第3四半期 464百万円 (101.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	135.94	—
29年3月期第3四半期	191.47	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	23,532	11,108	47.2	7,465.86
29年3月期	23,607	10,784	45.6	7,245.61

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,096百万円 29年3月期 10,772百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	3.7	280	12.3	270	18.2	200	△58.9	134.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	1,500,000株	29年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	13,715株	29年3月期	13,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	1,486,602株	29年3月期3Q	1,486,848株

（注）当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3項「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先課題として、計画的に設備の更新や従業員の意識向上等に取り組み、本年度も運転無事故を継続しております。また、公共交通事業者として、沿線地域の活性化に貢献することは社会的責務であるとの認識のもと、昨年4月1日に熊谷市・行田市と共に持田-熊谷駅区間に「ソシオ流通センター駅」を開業いたしました。

営業活動においては、より一層のサービスの充実を図るとともに、各種イベントの実施や沿線市町・同業他社等と連携した誘客活動を積極的に実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は4,184百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は289百万円(同20.5%増)、経常利益は274百万円(同15.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は202百万円(同29.0%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、前連結会計年度末より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

[鉄道事業]

旅客部門におきましては、SL列車が運行30周年を迎えたことに伴う記念イベントの開催、異業種や沿線の施設・学校等と連携した企画列車の運行、記念乗車券の発売などを実施いたしました。

また、沿線地域が多くのメディアに取り上げられ、秩父地域への旅客の入込みが伸びた他、行田市が舞台となったTVドラマの放映による効果等もあり、定期外旅客人員及び定期外旅客収入は前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門におきましては、順調に推移し貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、安全性を維持するための修繕費が増加した他、電力料金の値上がり等により前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は2,655百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は22百万円(同49.2%減)となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、駅から近い好立地にある熊谷駅南口駐車場の拡充を図ったことにより、賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は278百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は155百万円(同25.0%増)となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、近年、力を入れているエージェンツセールスにより団体のお客様が増加いたしました。加えて、積極的にメディアへの対応を行ったことで、多くの媒体に長瀨ラインくんだりや宝登山ロープウェイなどが紹介され、「長瀨」の知名度が飛躍的に向上し、たくさんのお客様に訪れていただきました。

また、長瀨ラインくんだりでは、ファスト・ライドが浸透し、お客様の利便性の向上に繋がった他、宝登山ロープウェイでは、雲海鑑賞便や夕焼け鑑賞便など季節感にあふれた特別運行を実施し、宝登山の新たな魅力を発信いたしました。

この結果、営業収益は435百万円(前年同期比13.5%増)、営業利益は72百万円(同145.6%増)となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、貸切バスの稼働率が伸びず営業収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は322百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益は23百万円(同38.2%減)となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は783百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は3百万円(前年同期は6百万円の営業損失)となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し23,532百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、168百万円減少し1,749百万円、固定資産は93百万円増加し21,782百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金はそれぞれ増加しましたが、繰延税金資産及びその他に含まれる鉄道事業に係る補助金等の未収金がそれぞれ減少したことによるものです。固定資産増加の主な要因は、投資有価証券が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ398百万円減少し12,424百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ356百万円減少し3,488百万円、固定負債は42百万円減少し8,935百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、未払法人税等及び賞与引当金並びにその他に含まれる設備未払金がそれぞれ減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ323百万円増加し11,108百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	807,599	886,216
受取手形及び売掛金	227,088	457,772
分譲土地建物	128,346	128,333
商品及び製品	27,072	28,752
原材料及び貯蔵品	120,750	118,385
繰延税金資産	93,772	57,255
その他	517,670	77,745
貸倒引当金	△4,217	△4,585
流動資産合計	1,918,083	1,749,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,887,785	13,902,769
減価償却累計額	△9,551,123	△9,639,617
建物及び構築物（純額）	4,336,661	4,263,151
機械装置及び運搬具	5,026,458	4,978,094
減価償却累計額	△4,328,778	△4,301,300
機械装置及び運搬具（純額）	697,680	676,794
土地	15,870,576	15,870,769
その他	674,344	732,889
減価償却累計額	△597,170	△607,653
その他（純額）	77,173	125,236
有形固定資産合計	20,982,092	20,935,951
無形固定資産	62,187	44,748
投資その他の資産		
投資有価証券	601,655	770,336
繰延税金資産	3,446	3,134
その他	61,970	51,763
貸倒引当金	△22,247	△23,370
投資その他の資産合計	644,825	801,864
固定資産合計	21,689,105	21,782,564
資産合計	23,607,189	23,532,440

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,162	151,283
短期借入金	1,133,498	1,214,968
1年内返済予定の長期借入金	1,121,201	1,123,710
未払法人税等	78,346	3,513
未払消費税等	55,486	97,480
繰延税金負債	203	—
賞与引当金	194,292	116,217
その他	1,121,798	781,257
流動負債合計	3,844,988	3,488,430
固定負債		
長期借入金	2,311,712	2,226,571
繰延税金負債	129,372	181,480
再評価に係る繰延税金負債	4,554,400	4,554,400
退職給付に係る負債	1,729,553	1,716,160
特別修繕引当金	104,000	119,600
長期預り金	103,019	91,656
その他	46,075	46,075
固定負債合計	8,978,133	8,935,943
負債合計	12,823,122	12,424,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,916	21,916
利益剰余金	△355,993	△153,901
自己株式	△28,592	△29,860
株主資本合計	387,329	588,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368,580	485,924
土地再評価差額金	9,984,234	9,984,234
退職給付に係る調整累計額	32,436	38,086
その他の包括利益累計額合計	10,385,251	10,508,245
非支配株主持分	11,485	11,665
純資産合計	10,784,067	11,108,066
負債純資産合計	23,607,189	23,532,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	4,038,065	4,184,795
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,803,524	2,906,330
販売費及び一般管理費	994,722	989,370
営業費合計	3,798,247	3,895,701
営業利益	239,818	289,094
営業外収益		
受取利息	29	17
受取配当金	13,641	9,446
土地物件貸付料	17,567	17,543
その他	9,291	3,890
営業外収益合計	40,529	30,897
営業外費用		
支払利息	36,440	29,679
減価償却費	—	12,285
その他	6,527	3,891
営業外費用合計	42,968	45,857
経常利益	237,378	274,134
特別利益		
固定資産売却益	5,436	3,589
工事負担金等受入額	10,361	—
補助金受入額	246	192
その他	2,236	1
特別利益合計	18,280	3,783
特別損失		
固定資産圧縮損	11,274	—
固定資産除却及び撤去費	37	—
特別損失合計	11,312	—
税金等調整前四半期純利益	244,347	277,918
法人税、住民税及び事業税	27,807	38,249
法人税等調整額	△68,194	37,447
法人税等合計	△40,387	75,696
四半期純利益	284,734	202,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	284,682	202,092

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	284,734	202,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170,611	117,396
退職給付に係る調整額	9,406	5,650
その他の包括利益合計	180,017	123,046
四半期包括利益	464,752	325,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464,650	325,086
非支配株主に係る四半期包括利益	102	180

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,557,419	258,785	382,292	336,031	3,534,528	503,536	4,038,065	—	4,038,065
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	7,788	5,130	1,028	1,023	14,970	280,884	295,855	△295,855	—
計	2,565,208	263,915	383,321	337,054	3,549,499	784,421	4,333,920	△295,855	4,038,065
セグメント 利益又は損 失(△)	44,088	124,611	29,578	37,615	235,894	△6,492	229,402	10,415	239,818

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額10,415千円には、固定資産未実現損益の消去額1,221千円、セグメント間取引消去9,194千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,648,761	272,945	433,881	321,674	3,677,263	507,532	4,184,795	—	4,184,795
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	7,203	5,248	1,318	371	14,141	276,219	290,360	△290,360	—
計	2,655,965	278,193	435,199	322,046	3,691,404	783,751	4,475,156	△290,360	4,184,795
セグメント 利益	22,417	155,802	72,643	23,235	274,098	3,516	277,615	11,478	289,094

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額11,478千円には、固定資産未実現損益の消去額1,135千円、セグメント間取引消去10,343千円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より、報告セグメントの経営成績をより適切に反映させるため業績管理方法を見直したことに伴い、索道事業をその他セグメントから観光事業セグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しております。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	3,990	4,039	△1.2
	定期外	〃	2,272	2,206	3.0
	計	〃	6,262	6,246	0.3
貨物トン数		千トン	1,520	1,476	3.0
旅客収入	定期	百万円	557	565	△1.3
	定期外	〃	955	925	3.3
	計	〃	1,513	1,490	1.5
貨物収入		〃	942	883	6.7